

# 監査結果の公表

(その1)

令和5年度 定期監査（その1）を実施した結果（一部抜粋）を次のとおり公表します。



▲全文はこちら

茂原市監査委員 風戸博恭  
茂原市監査委員 細谷菜穂子

## ◆監査の対象

【総務部】  
総務課・秘書広報課・職員課・管財課・防災対策課

## 【福祉部】

社会福祉課・障害福祉課・高齢者支援課・子育て支援課

## 【会計課等】

会計課、議会事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、監査委員事務局

## ◆監査の着眼点

各所管の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びにその他の事務の執行が法令等に適合し、適正かつ正確に行われているか、最少の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運

営の合理化に努めているかに主眼を置き監査を実施した。

## ◆監査の実施内容

各部署から提出された定期監査資料について、補助職員による予備監査を実施し、監査当日は、監査対象部署の長等から説明を受け、関係職員に対して質疑を行うことにより実施した。

## ◆監査の期間

令和5年10月24日①～12月15日②

## ◆監査の結果

監査の結果、法令等に適合し、概ね適正に執行されていたが、一部検討が必要と認められる事項が見受けられた。

なお、複数の部署に共通する事項については【共通事項】に掲げ、各部署への個別事項については【部署別事項】に掲げた。

## ○全課共通

●本市の財政運営は、子育て支援等の社会保障関係費の増加に加え、突発的な災害対応に伴う費用等により大変厳しい状況にある。今後も財政負担の更なる増加により、状況の改善が見通

せない中、職員一人ひとりが現状を正しく認識するとともに、各々の立場で、最少の経費で最大の効果を挙げることを念頭に、改めて事務の効率化やコスト削減等の意識を持ちながら住民福祉の向上に努められたい。

## 【部署別事項】

### ○総務課

●DX<sup>※1</sup>の推進にあたっては、市民がその成果を早期に実感できるように、費用対効果を考慮し積極的に取り組まれない。また、シニア向けスマートフォン講座の実施については、市の情報発信の観点からも有益であることから、講座内容や開催場所の見直し等により、多くの高齢者がLINEやFacebookなど市公式SNSを活用できるよう取り組まれない。

### ○職員課

●定員管理計画については、5

か年の長期計画となることから、

関係部署と連携しながら、事業の取捨選択、新たな行政需要など様々な要素を勘案し、より正確な事務量を予測したうえで適正な計画の策定に努められたい。また、計画における年度目標の達成に向けて新規採用等の柔軟な対応を図るため、計画の策定期間等について改めて検討されたい。

●職員の健康管理の推進にあたっては、職員が心身ともに健康やかに職務に専念できるよう、健康診断未受診者への個別受診勧奨やストレスチェックの更なる有効活用など積極的に取り組まれない。

### ○管財課

●公共工事の発注にあたっては、年度末に工期が集中することのないよう、発注見通しと現状を把握しながら、早期発注に向け適切な指導監督を行われたい。

### ○防災対策課

●今年9月に発生した災害への対応については、所属ごとに課題を整理したうえで様々な角度から対策を検討し、市民の生命と財産を守るための備えを徹底されたい。

●災害時においては、自主防災組織の活動が大きな力となるが、長期停滞している状況も見受けられることから、より多くの自主防災組織が有事に積極的に活動できるように、効果的な対策を講じられたい。

## ＜福祉部＞

### ○社会福祉課

●避難行動要支援者の安全を確保するため、避難行動要支援者名簿の有効活用を図り、民生児童委員や自主防災組織など関係

